

第三者割当による
第3回新株予約権を通じた
資金調達について

yokowo

1. 本新株予約権の概要

第3回新株予約権 (行使価額修正条項及び停止指定条項付)

調達想定額 ※	約82億円	
新株予約権の個数	30,000個	
潜在株式数/希薄化率	潜在株式数3,000,000株 / 希薄化率(対議決権総数) 14.8% (2020年9月30日時点の総議決権数202,816個)	
行使可能期間	2年間(2020年12月3日~2022年12月2日)	
行使 価額	当初	発行決議日(2020年11月10日)の直前取引日の終値である2,741円と 条件決定日(2020年11月16日または17日)の直前取引日の終値のいずれか高い方
	上限	なし
	下限	発行決議日(2020年11月10日)の直前取引日の終値の70%である1,919円と 条件決定日(2020年11月16日または17日)の直前取引日の終値の60%のいずれか高い方
	行使価額の修正	行使請求の直前取引日の終値の92%(但し、下限行使価額は下回らない)
停止指定条項	当社は2020年12月4日から2022年6月2日までの期間中、割当先に対して行使ができない期間を指定することが可能	
当社による任意取得	2週間以上の事前通知により、当社は残存する本新株予約権を発行価額と同額で取得することが可能	

※金額は、発行決議の直前取引日の終値を用いた場合の当初行使価額で換算

※詳細は、本日同時公表のプレスリリース「第三者割当による第3回新株予約権の発行に関するお知らせ」をご参照ください

2. 本新株予約権の特徴

既存株主の皆様の利益に最大限配慮しながら、
さらなる「成長」へ向けた資金を確保

希薄化への配慮

株価動向に関わらず、希薄化率は限定される

発行後の当社株価動向にかかわらず、本新株予約権の行使による最大増加株式数が固定されていることから、株式価値の希薄化が限定される
この点で、潜在株式数が増加する転換社債型新株予約権付社債（一般的なMSCB）とは異なる

株価への影響

行使コントロール

本新株予約権には停止指定条項が付与されており、当社株価動向等を勘案して、当社が割当先による本新株予約権の行使を停止したい場合は、停止指定期間を指定することができる

資本政策の柔軟性

臨機応変な資金調達

割当予定先の裁量による本新株予約権の行使に伴う資金調達を行いながら、当社の資金需要や株価の状況に応じて当社が停止指定を発することにより、臨機応変な資金調達を図ることが可能な設計

3. 資金調達の目的と資金使途

目的

新中期経営計画「GO BEYOND～Challenge the Next Stage～」に基づく、新たな企業・事業基盤強化の取組みによる更なる成長に活用

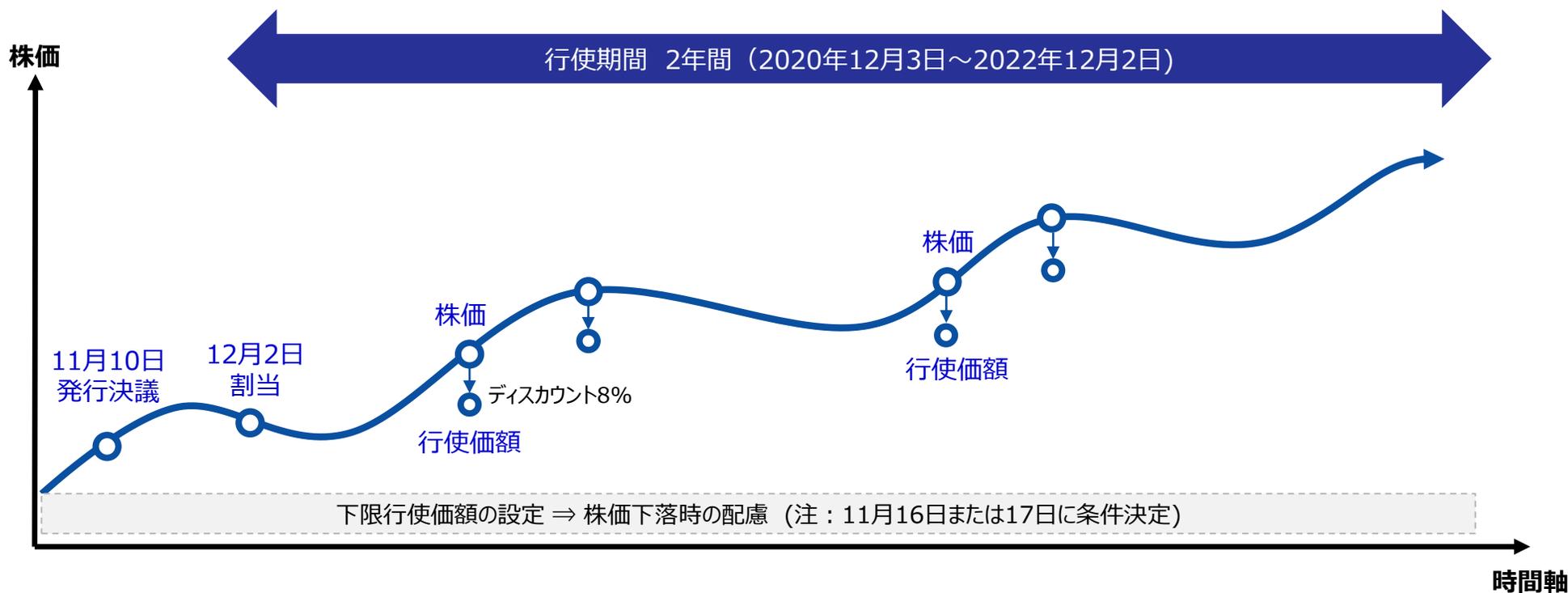
資金使途

投資分野	投資内容内訳	投資(支出) 予定	金額 (百万円)	
新規事業に向けた基盤投資	CTC事業 MEMSプローブカード生産ライン新設	2020年12月～2022年12月	3,234	3,734
	MD事業 クリーンルーム/レーザー加工機他設備増強	2020年12月～2023年3月	500	
基礎研究	高周波/微細精密加工/材料分析測定環境整備	2020年12月～2023年3月	2,000	4,500
	スマート (省人化・自動化) 生産プロセスの構築、AI研究	2020年12月～2023年3月	2,500	
計				8,234

※本日同時公表の新中期経営計画「GO BEYOND～Challenge the Next Stage～」、プレスリリース「第三者割当による第3回新株予約権の発行に関するお知らせ」をご参照下さい

4. 本新株予約権による調達の仕事

- 行使価額は行使請求の直前取引日の東証終値の92%に相当する金額に修正されます
- 修正後の行使価額が下限行使価額を下回る場合、行使価額は下限行使価額になります
- 当社から停止指定を行うことで、新株予約権の行使停止を何度も行うことができます
- 今後の株価動向により、資金調達額は変動します



※上記はイメージであり、当社株価が上記通りに推移することを約束するものではありません